

山下知事が **ReHacQ** <https://youtu.be/cev2NJwjYj0>

のインタビュー動画の中で、ひろゆき氏らを相手に

五條市の大規模防災拠点の 2000m 滑走路の話がされた部分について

NOTE というブログサービスの中で、「えびすい」さんという方が、
文字おこしをして下さいました。

https://note.com/ebyan2013/n/n19f94a8d05c8?fbclid=IwY2xjawHlfX1leHRuA2FlbQIxMAABHROkdD3Em2faBLLrhVasZk-FXBbDVB_X2pQ71sB_GJW4mKCeKU3rloFKmg_aem_9xP9hZAvLYRJTb4MZOX1CA

これについて、誤解を招く表現が多々あるため、奥田寛が、ツッコミを
入れた解説を以下に示しておきます。

ReHacQ を鵜呑みにされないようご注意をお願いしたいと思います。

2025年1月4日 奥田 寛

以下-----

リハックの「ひろゆき氏」と「山下奈良県知事」の会話＝赤字
に対する、奥田寛のツッコミ＝青字

山下奈良県知事(以下知事): 五條市で計画されていた 2000 メートルの防災目的の滑走路の事業は中止されました。

ひろゆき(以下ひろ): 空港がないのに滑走路を作る計画があったんですか？

知事: はい。南海トラフ地震発生時に航空機で人員や物資を輸送する目的で計画されていました。

ひろ: ヘリポートではダメなんですか？

知事: おっしゃる通り、ヘリコプターで十分です。

当初の計画は、「和歌山や三重の湾岸を助けに行く想定で、国の計画において、静岡空港・名古屋飛行場（航空自衛隊小牧基地）・名古屋港・熊本空港・大分スポーツ公園という最重要拠点と同列に置付けられた近畿全体をカバーする規模」のもの

それを変更した山下知事の案は、「奈良県の中だけを助けるためのもの」と明言されている

この違いをあえて、ひろゆき氏に説明せずに、「へりで十分」と済ませるのは、明らかに「南海トラフはへりで対応可能」との誤解を生んでいる

国の南海トラフ対応の計画に位置づけられた五條市防災拠点には、滑走路があるので、C-2 輸送機等、中型の固定翼機による大量の物資受入れ等も可能との認識によって成立しているし、山下知事は、事業見直しにより滑走路をなくすので、国の計画から外れるとも述べている

また、森山奈良県議の関西広域連合議会での質問でも明らかになっているが、南海トラフ対応の大規模受援拠点の選定については、山下知事が南紀白浜空港その他の候補地をあげたのに対して、他府県の知事たちから色よい返事はなく、関西広域連合の中で、新しい受援拠点についての議論は進まず宙に浮いている状態である

ひろ： 滑走路を作っても、地震発生時に管制システムを運用するのは難しいでしょう。

知事： おっしゃるとおりですよ。

荒井元知事は、東北震災の時に内陸の山形空港が大活躍した例に学んだと述べている

海外などからの物資輸送も必要とされる大災害の超長期対応について、

ひろゆき氏の即時対応に限定した滑走路不要論は大きな誤解であり、それを肯定するのもおかしい

西田： 五條市は辺鄙な場所ですね。

ひろ： 物資が届いても、そこからどうするのかと。

五條市は京奈和自動車道に隣接して、縦に長い県内を南北へ素早く動ける要衝であり、災害の多い奈良県南部への入口として、紀伊半島アンカールート（168号線）へのアクセス、ドクターヘリの駐機場である大病院が近い。アンカールート（169号線）へのアクセスも、京奈和自動車を少し北上するだけで可能になる。

知事： 五條市は谷間に位置しており、滑走路予定地も谷底です。山からの風が強く、離着陸が難しい場所です。通常、そんな場所に空港は作りません。使うかどうか分からない滑走路を作る計画でした。

<https://project.nikkeibp.co.jp/ms/atcl/19/news/00001/04211/?ST=msb&fbclid=>

IwY2xjawHlh55leHRuA2FlbQIxMAABHc6bxWCBfXd8fyWjKLLVKDaP8fX0XX06hvs_7CYDSWETGRTne8JIEe5iEQ_aem_5eRCXV3J4_ddJ5xazNqcn
g

上記リンクの「離着陸できない空港」という勝手な見解に関連するもと理解するが、根拠が示されていない

山下知事自身が「可能性がある」という相当ぼかした表現で逃げているので、航空法に則り合法の範囲で工事をするのは可能と認識する

実際のところ、計画策定にあたっては、周辺家屋への騒音影響の軽減、コントロールを要する東西の鉄塔の高さを考慮して EL=196m という山の南面の高地に設定されるなど、航空法以上の縛りにこたえるよく練り込まれた計画になっていて、使えない空港になるというのは疑問である

知事： そうです。私が就任する直前に、もうほとんどのお金を支払いまして、県の所有になっていました。その 36 億円で買ったゴルフ場を何とかしなきゃいけないという問題に直面しまして。

36 億円の 7 割は交付税措置される緊急防災対策債の話がすっ飛ばされている

と同時に、メガソーラーを地元がそんなに嫌がるなら土地を返そうかという言い方をしていたことも忘れたかのように述べられていない

本気でこの土地が嫌なら、土地と 36 億円をもう一度交換してもらおう交渉をすればいいと思うのだが、そのような交渉はしていない

知事： それについてはよくわかりません。ただ、土地を買っても滑走路を作るのに 20 年くらいかかりそうだったんですよ。

高橋： 20 年かかるんだ？

ひろ： え、南海トラフ地震って 20 年以内に？

西田： 30 年の間に。

ひろ： あ、30 年の間におきるから、20 年後にできたら 10 年間はよかつねみたいなの。

国の計画にも、この五條市事業はすでに着工していて、かつ工事中でも使用出来る手法をとることが明言されている

が、その説明は省かれている

一期工事の完成予定は二年目、二期工事 600m 滑走路などは 10 年目に完成予定だった

知事： 僕が選挙に出る時に、『いや、こんなんおかしいやろう』と。どう考えても非合理的な計画だね。しかも、その滑走路を作るのにいくらかかると思います、皆さん。1000 億円。

ひろ： 1000 億円。

高橋： え、なんでそんなお金が。

西田： しかも滑走路だけ(爆笑)

ここが一番ひどいと思うのだが、緊防債での 7 割の交付税措置及び、

リニア残土活用で 2000m 滑走路を造るとリニアの新大阪開業を数年早める効果があることと

420 億円/年の経済効果があるリニア駅の商圈全部を、八条か大和郡山の県南部からのアクセスのいい場所に取り込む狙いがあることを完全に無視している

やらない場合、平城山駅になり京都府と経済効果を二分してこの先何十年も 210 億で我慢することになる可能性が高くなる